

磐城大衆新聞

毎月二回、一日、十五日
 定価 一部 五十銭
 廣告料 (場所指定七割増)
 印刷人 長谷川兵衛
 福島縣平町研町十八番地
 發行所 磐城大衆新聞社

平市創建の

「第一線に躍る人々」

吉村安次郎氏

製綿事業家として、斯業界の王座を占めつゝある實直なる經濟人である、又町會議員として過去三年有餘町政に參與してその責を全ふしたる人である。

金成泉一郎氏

青年團副團長の要職にある、青年の指導誘掖に奉仕生活をする。

木澤常松氏

老舗大鶴菓子店の店主として當町に於ける最新經濟人としてその明日を待望されて居る。

坂本隆藏氏

氏は趣味豊かな雅人。殊に書畫骨董に一隻眼を有するその道の通人である。

渡邊貫一氏

平統砲火藥店として火藥業界の第一人者である、沈黙の實行家にして質實剛健の性格をもつ、前町議として町政發展のための盡力した業績顯著。

關内正一氏

實業界及政界に於ける最新人として大衆待望の焦点又前銀治町區長として區發展のために献身し今又町議の信望を負ふ信用厚き區長である。

國府田直良氏

藝妓屋組合のため盡力し、又前銀治町區長として區發展のために献身し今又町議の信望を負ふ信用厚き區長である。

齊藤寅吉氏

南町區長として區發展のために一意専心奉仕しつゝある名區長である。世の中の悲風慘雨に心膽を練つた老巧の苦勞人である、區民の信望を負ふ信用厚き區長である。

多田井笑次郎氏

平町青年團長として幾多青年町議として噂に上つた人であつたが陰の人として馬目武之助氏のために盡された、明年は厭でも應でも町議に押し出さるゝだらう。又當然送り出してもよい人だ。

野崎滿藏氏

氏と對照して立つ町議として又議事會會員として往年の活火山の氣魄を腹底に秘め旺盛なる闘争の角を矯めて將來中央政果進出を策めつゝある人得意の人である。又當然送り出してもよい人である。

釜屋商店

電話九・九九番

吉田伴吉氏

吉伴鐵工場主として鐵工業界の弱者である。元町議として町治に奉仕し、資性温厚なる君子である。

柏原幸次郎氏

大三井呉服店の旦那として斯業界に君臨して居る、元町議として町治に奉仕し又現消防副組頭として井上組頭を補佐して消防事業のため献身しつゝある。

山野邊東次郎氏

獨特の皮肉を發放して對者の心膽を寒からしめ、時に毒舌となつて對手を舌殺せしむ、山野邊藥局の店頭にあるよりは政黨本部の院外團長として中央政界に送り出した人である。

井上茂作氏

その名餘りに多く知られた名人物にして一言の評を要しない、明かなる性格の持主にして又有名なる快辯の所有者である。

荒川淺次郎氏

荒川指物店主として不言實行の君子人である。二回とも選ばれて町議たる程信用と徳望厚き人である。

岡田千藏氏

輕卒に表面に立たざれども底力ある人、鎌田の一角に岡田牛乳店を前代より永らく經營し來り實業界各方面に交渉をもつ、町議の噂にのぼる人である。

吉田寅之助氏

町議中に於ける理論闘争の雄、自家の所信を勇敢に披瀝して町政改革に献身してやまぬ熱情の所有者である、苟しくも町議たるからには自己の主張と意見を陳べて町政改革の上に一彈を投ずる底の氏の如き意氣がなければならぬ。再選させた人、又再選

自力仁俠の熱血漢

高橋龜松氏

氏は自力難道を進んで、今日の日歩を確めた奮闘兒である、徒らに他力に寄生せずして自己本力の發揮せしめて功を收める。財界の動向を見る



(氏松龜橋高)

に天才的慧眼を有し、世界大戦勃發するや、巧みに財界の波濤を乗り超え財界進出のスタートを切つた。其後、順潮に掉して財界に乗り出し遂に今日の立場を作つた。

氏は熱血熱情の人にして弱者に同情する仁俠の士である、氏は政治に興味を有辭せず飛び込む氣概をもつ

石城政友會の常任幹事の大戦勃發するや、巧みに財界の波濤を乗り超え財界進出のスタートを切つた。其後、順潮に掉して財界に乗り出し遂に今日の立場を作つた。

取消

社告仕候昭和七年九月十五日當社發行磐城大衆新聞第十六號封面に掲載候老巧の醫家藤沼平次郎氏と題する記事は事實相違の點有之候間此段取消候也
 昭和七年十月一日
 磐城大衆新聞社

平町材木商界總まくり

阿部材木店

店主阿部章氏は堂々廿貫巨額を有する肥大漢、商機を見るに敏、奮闘の結果今日の成功を致した。本郡澤渡村出身にして創業十数年、業礎堅實にして將來の大成を期されてゐる。消防並に青年團の事業に盡力しつゝある。電四九四

織田材木店

店主織田高次郎氏は純生平つ子、前途を囑望する青年實業家である。過般火災に遭遇して今や新装成つて營業の新陣營を構え活潑に營業しつゝある。創業廿數年業界の信用日に増大しつゝある。氏は消防小頭並びに材木商幹事の要職にある。電四六〇

早川材木店

店主早川重治氏は澤渡村出身創業十數年、材木商幹事として斯界に雄飛してゐる。電五八四

石山材木店

店主石山忠三氏は宮城縣出身、小壯新進の士として明日の活躍を期待されつゝある。材木商青年分團幹事として青年指導のため盡力されてゐる。

櫛田材木店

店主櫛田榮太郎氏は今や功成り名遂げたる業界の元老格、平町材木商顧問の要職にある。町會議員として又所得税調査委員として地方自治のために盡力された方自治のために盡力された創業卅年。電二四六

長谷川材木店

店主長谷川浩太郎氏は小川村出身にして創業十數年、材木商幹事として業界興隆のため盡されつゝある。電五九

色川材木店

店主色川勝三郎氏は才腕快手縦横の經濟人、その天才的商才は電光石火の閃めく遂に今日の成功を致した。創業廿數年其間財界の怒濤疾風と戦つて不屈不撓の精神を以つて戦ひ抜いたの精神を以つて推稱すべきで町の一角に陣營を張つて業務に活動してゐる。電三四一

中川材木店

店主中川長祐氏は相馬出身創業廿年着實な實業家として業界の信用を博してゐる。材木商副組合長として又大工町前長として業界のため區の奉仕し業績

佐藤材木店

店主佐藤福太郎氏は小壯村出身創業廿年林木商幹事として業務發展のために盡されてゐる。電五三四

丸一材木店

店主瀧口豊氏は好間村出身、創業十數年業界の信用を得て店運日に増大しつゝある。電二九〇

丸上材木店

店主長小次郎氏は新川町區長として區のため盡されてゐる。創業廿數年、材木商組合長として人望を集めてゐる。電六〇一

宇佐美材木店

店主宇佐美三氏は相馬郡出身にして創業廿年、大町の一角に陣營を張つて業務に活動してゐる。電五三〇

山野邊材木店

店主山野邊陽氏は新進の實業家である、本郡飯野村出身、創業十數年各方面に得意をもつて活動しつゝある。電五三〇

鈴木材木店

店主鈴木伊太郎氏は高久村出身創業廿年林木商幹事として業務發展のために盡されてゐる。電五三四

兒山材木店

創業廿數年、堅實なる經營振りをなして信用日に増大、店運隆昌を來してゐる。電三四七番

佐藤材木店

店主佐藤三平氏は無比の活動家にして内郷村々會議員消防組頭等の要職にあり村のために盡力奉仕してゐる。創業廿數年、材木商組合幹事として斯業發展のため盡されてゐる。出身は神谷村である。電四三〇

阿部材木店

店主佐藤富義氏は澤渡村出身創業廿年着實なる業歩を辿りつゝ、一般の信用を博しつゝある。電話五八五番

芹澤材木店

店主芹澤嘉彦氏は磐中出身、山田村生れにして全店創業三十年組合幹事として營を構えて堂々洋業界の第一線を行く。子弟に對して懇切なる温性を傾けて之れが養成に心を掛けつゝある。

萩原材木店

月見町の一角に店舗を構えて堅實なる營業振をなす創業十數年

織田材木店

店主織田氏は磐中出身純生平つ子である、新進小壯の實業家として活潑に業務に従事してゐる。創業十數年

武藤治三郎氏

平町才穂小路に營業所を有して活潑大膽なる意氣を以つて一般古物品を大量に取扱つて東京方面に輸出しつゝある。斯業界に重きをなす(電話五八五番)

小川洋服店

店主小川芳太郎氏は江戸つ子肌の人にして、創業廿數年親切第一主義をモットオとして平町銀座通りに陣營を構えて堂々洋業界の第一線を行く。子弟に對して懇切なる温性を傾けて之れが養成に心を掛けつゝある。

清野彦四郎氏
清野氏は古物商として一般の信用極めて甚大である仁俠と温情の持主にして町内より信望を博しつゝある業界稀に見る古物商人である。

平田町

御料(理) 末廣

電話四二二番

華道家元池坊花生

遠州流茶之湯



教授 横山 美聲

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門
病室完備自炊の便あり

大和田醫院

平町南町 電話一七〇番

平町大町 電話五〇二番

難波醫院

醫學博士 難波 陸
入院需に應ず、自炊の便あり
看護婦至急募集

最新版

平町全圖

一部二十錢

從來の繪圖面式のもの大いに異り精密正確を極めたる精圖なり大平町の調査資料として是非一部御常備を乞ふ

マルトモ柴田書店
平町三丁目 電話二三四番五九七番

運動具と服装!!!
榮冠輝く品質と
價格のフラインブルー

マルカ

運動具店
平町前電話三十二番

改良洗張の元祖
萬 洗 張

小松崎洗張本店
平町三丁目裏通り 電話七七〇番

平町四丁目八番地
萬屋貨物
自動車運輸部
果實問屋營業人 萬屋
電話二七三番

小松崎洗張本店
平町三丁目裏通り 電話七七〇番